



Hachioji MAIL NEWS

輸送サービス労組 八王子地本

JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION-HACHIOJI



ホームページ

2021.7.15

No. 217



Twitter

八地申
第33号

八高・川越線中編成ワンマン運転 実施に関する解明申し入れについて

7月7日
団体交渉
開催!

今交渉では八高・川越線の特情を踏まえ、ワンマン運転を実施できる根拠を中心に議論してきました。支社として施策を進める根拠として、日本の人口減少と生産年齢人口が低下しているため、機械化・システム化していくことで、人ならではの業務にマンパワーで対応出来るとしています。

しかし、ワンマン運転時における運転士の基本動作や訓練内容、異常時対応など支社と職場で調整しているため明らかになりませんでした。また、支社の回答では、車掌が行っている業務を運転士が行うこととしつつも、列車防護・列車の状態注意・車内秩序維持など現在より安全が低下する恐れがあることが分かりました。解明交渉の議論を踏まえ、今後は基本交渉を行っていきます。

【ワンマン施策を実施出来る根拠】

- ・ワンマン運転については、線区や区間を限定せずに**拡大する**。八高・川越線は「鉄道の技術上の基準を定める省令 第86条」に定められている、必要な設備等を整備出来る確認出来た事から実施することになった。
- ・区間・時間によっては多くの利用があるが、4両全てのドアを開扉するので不都合は無い。**ワンマンの実施は乗車率の高低で判断していない**。

【異常時の対応について】

- ・伝令法の際は車掌でなければいけない事はなく、**運転士が車掌の代わりに行う事がある**。車掌でなければいけない事はなく、線区を知っている運転士も出来る。
- ・災害時の避難誘導を行う際は、応援体制を確立していく。**避難はしごの取り扱いが貼ってあるので、時間が掛かる際はお客さまの協力を得て行う**。ケースバイケースで行う。
- ・現状、ワンマン実施後運転士が負傷した際は**列車防護を行う術が無いので出来ない**。他線区が並走している箇所は現在他社と調整を行っているが、列車防護を行ってもらう協定を結ぶ事を考えている。

【設備について】

- ・車両搭載型ホームモニターシステムを搭載し、乗降を確認出来る事から**終日ワンマンを実施する**。ドアスイッチが運転台手元にあるので、着座したままドアの操作が出来る。
- ・進入・進出時の後方確認が出来るシステムは無いので、補完する事が出来ない。**後方を確認するもの等を設置する考えは無い**。
- ・車内放送は自動放送が基本。**現在車掌が行っている接続確認、運転士では他線区の遅れが把握出来ないため行えない**。
- ・車外カメラは広範囲を映すカメラではなく、**遠くからの駆け込み乗車は車内モニター上に映らないところはあるが、乗降する部分は確実に映るので問題は無い**。
- ・車内秩序の維持に向け、SOS ボタン増設、車内防犯カメラ増設、車内確認タブレットを設置した。**現在も車掌が4両すべて車内を巡回しているわけは無いので、維持出来る**。

**安全・サービスレベルが向上し
働きがいを実感出来る職場を創り出そう!**